

新宮木協コミュニケーション誌

No.134 1/1



新宮

木協だより

2015年(平成27年)
(昭和37年12月10日創刊)
発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL. 0735-22-6105(代)
FAX. 0735-22-6107

URL: <http://www.shingumokkyo.com> e-mail: s-mokkyo@shingumokkyo.com



賀
正

JR木のぬくもりコーディネート化事業 集合写真(観光客歓送迎用木製看板)

(株)新宮原木市場 新春初市 1月19日(月)午前10時開市

ホームページ随時更新中

新宮木材協同組合

検索



新年のご挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとう
ございます。旧年中は組
合運営に格別のご指導と
ご協力を賜り誠にありが
とうございました。本年
もよろしくお願い申し上
げます。

さて、今年は今組合と
非常に関係が深い株式会
社新宮原木市場が設立五
十周年を迎えます。
ご存知のように新宮木
材業界は木材が筏に組ま
れて流送されていた頃か
らの長い歴史があり、木
材の取引システム等もそ
の時代時代で変わってお
ります。

その中で市売の歴史を
紐解きますと、昭和二六

年(一九五一年)「新宮電
柱木材協同組合」が設立
され、昭和三十一年(一九
五六年)同組合が「木材
市売部」を開設、昭和三十
六年(一九六一年)「木材
市売部」が「新宮原木市
売株式会社」として分離
独立(当組合主体で市売
実施、また組合内部に原
木集荷機関連設立審議委員
会設置)、そして委員会
の慎重審議・組合臨時総
会を経て昭和四〇年(一
九六五年)当組合が四
〇%出資する形で「株式
会社新宮原木市場」が設
立されました。

ちなみに電柱組合時代
の取引は当初筏入札であ
ったとのこと。とこ
ろがダム建設と国道の整
備により原木の流下が減
少するに従って、筏入札
もはかどらなくなり、筏
入札を廃して材種・径長
を区別し元を揃えて野積
みにした丸太の山を随意
入札することになったそ
うです(参考文献・新宮
木協百年史)

このようにダム建設等
の社会インフラ整備の影
響で筏の流送が減少更
にはストップしたことによ
り、市売も筏から丸太へ、
また市売組織も「新宮電
柱木材協同組合」から「新
宮原木市売株式会社」、
「株式会社新宮原木市
場」へと変わってきました
が、今なお、株式会社
新宮原木市場は木材の売
方と買方を結ぶ原木集荷
機関として、当組合所有

地である「市内あけぼの」
の下貯木場で良材の集荷
に努め、のべ千七百回近
くの原木市を開催し、今
年設立五十周年を迎えた
という訳です。

その「市内あけぼの」
にある当組合所有地です
が、ご存知のように平成
二五年度に事業化された
「新宮紀宝道路」では、
一部が計画上道路予定地
になっております。木材
会館・上貯木場(主に組
合員さんの丸太・製品置
場)・下貯木場(株式会社
新宮原木市場の市開催
場)として有効活用され
ている場所の一部です。
「新宮紀宝道路」がこ
の地域にとって重要な社
会インフラであることは
重々承知しておりますが、
当組合及び組合員さん
にとって、また今年設立五
〇周年を迎える株式会社
新宮原木市場の市売にと
って、できるだけ不都合

が生じない形で国土交通
省と話し合いをしていき
たいと思っております。

最後になりましたが今
年一年が皆様にとつてよ
り良い年になることを祈
念し、重ねてご指導・ご
協力をお願い申し上げます。
新年のご挨拶とさせて頂
きます。

謹賀新年

本年も

よろしくお願
い
申し上げます

組合員一同



市長への要望

九月二四日、新宮市長を訪問し平成二七年度から建築予定の新宮市新庁舎に関し「木材のまち新宮」を再認識してもらえようという目柄の触れること多い多き等々で来訪者の多い担当課でのムクの杉・桧を量、質共に効率的に利用願いたい旨お願いし要望書を提出しました。



市長に要望書を提出

キャラバン活動

和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例

年県下自治体を訪問し公共建築物の木質化を推進するためキャラバン活動を行っています。十月二

日当組合が担当となっている新宮市と那智勝浦町を新宮市森林組合、熊野川町森林組合、那智勝浦町森林組合と一緒に訪問し、要望書を提出しました。

特に新宮市では文化複合施設の建築に際して他の自治体での木造事例を紹介しながら木の町新宮をアピールできるように工法での設計を強くお願いしました。

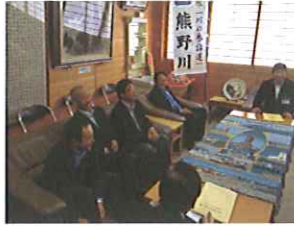


写真 左は那智勝浦町、右は新宮市にて

新宮・紀宝道路

新宮・紀宝道路の計画路線は組合所有地に大きな影響を与える見込みとなつているため、これまで国交省からは二回の説明会、そして組合内部に就いては全員懇談会を開催したことは前回の木協

だよりでも報告致しましたが、組合執行部としてこの問題にどう対処していくか総会以後五回の理事会及び役員協議会を開催し検討した結果、国交省宛に『木材業の歴史や、伝統について説明すると共に木材業の根幹となつている(株)新宮原木市場が現在地周辺で経営継続が出来るように貯木場の確保を強く願います』要望書を提出致しました。

それ以後国交省からは要望書を検討するためにも現地調査に入りたいとの依頼があり当方ではこれについて検討しているところでもあります。

林業・製材業
人材育成事業

国、県では地域における人手不足分野の人材確保及びミスマッチを解消するため人材確保支援事業を創設致しました。当組合でも和歌山県の指導を頂きながら本事業に取り組むこととなり現在、七業者からの参加希望をとりまとめ事業を進めております。事業の内容は失業者を地域の企業等で就業させるために必要な知識・技術を習得させ人材育成を行なう事業であり本事業により新規就業した労働者を雇用した場合に係る人件費等を一年間補助してくれるものです。当組合が窓口として新宮市から委託を受けて取組んでおりますが、これまで新規に六名の労働者が雇用されております。



新規雇用者が受講したフォークリフト講習

AEDの設置
(自動体外式除細動器)

最近、急性の心臓発作等により突然倒れた人に備え各所でAEDの設置が進んでおります。当組合でも関係者がAEDにより命を助けられたという事例もあり、会合や研修会等で人の集まることも多く、更に原木市場でも月二回一年を通して屋外での市売りをやっていること等を勘案して万一に備えAEDを設置致しました。又、それに先駆けて八月二九日新宮消防署から二名の講師を迎え木材関係者十四名が木材会館にて心肺蘇生法やAED取扱方法等について熱心に講習を受けました。



講習の様子

吉野木材市場研修旅行

十月二五日参加者八名にて吉野木材市場で開催された北村林業記念市及び、秋季選木市の研修を行ないました。当地では目にかかることの少ない大径木がひしめいており、セリ番号をゆつくりと声に出しながら行なう独特の競りの方法、そして一見して区別のつかない同じ山から出荷された丸太でも値段が驚くほど違うこと等大変貴重な体験を積むことが出来、今後の事業の参考になりました。
(速水 祥久)

〈参加者〉
植松 浩・瀬古伸一郎・速水祥久・板谷貴史・田野上之保・井上章一・久保雅稔・日下光
(順不同)



桧長木 m³140万円

(写真右端)



杉4m m³65万円

(写真中央)



競市風景

木材利用ポイント事業経過報告

当組合が窓口をしている木材利用ポイントですが、平成二六年十一月末現在、和歌山県下の累計発行件数が七八五件、内当事務局が四〇件(申請中も含む)となっております。

最近、消費税の駆け込み需要も一段落し、申請数は一時期より少なくなっております。
申請ポイントの使い道に関しては全国商品券・新宮商工会議所商品券を半々で使用する方が多く見られます。
やはり、書類作成の手間等・発行まで時間がかかることもあり、申請数は伸び悩んでおります。
尚、木材利用ポイント
対象住宅の工事着手期間は平成二六年九月三〇日まで、ポイントの申請受付期間は平成二七年五月三一日まで(当日消印有効)ですのでご注意ください。
「ただし、ポイントの発行額が予算額に達した場合には、申請期限が終了する前であってもポイントの発行を終了します。」

その木、?
どこの木?
木材利用ポイント実施中

JR木のぬくもり

コーディネート化事業

和歌山県とJRが進めているデスティネーションキャンペーン(DC)に協力し併せて『木のまち新宮』をPRするために、和歌山県の地域・ひと・まちづくり補助事業を利用して新宮駅の一部木質化を目的としてJR木のぬくもりコーディネート化事業に取り組みました。実施した事業内容は次の通りです。

- ① 駅構内支柱への木製カバーの取付
- ② 観光客歓迎看板の木製化
- ③ 二〇一五和歌山国体カウントダウン看板ボード
- ④ 児童生徒木工工作コンクール二〇一四優秀作品の展示
- ⑤ 桧チップによる香りの提供(二番ホーム待合室)



②観光客歓迎看板



①支柱への木製カバー



④木工工作コンクール優秀作品



③国体用カウントダウン看板



JR新宮駅より感謝状が授与されました



⑤袋詰めにした桧チップの提供

「蝸ノ記」

葉室 麟 著

◇物語 藩主の側室と不義密通の廉で十年後の夏に切腹する事。そしてその日までに藩の歴史である「家譜(かふ)」を完成させることを命じられたこの作品の主人公・豊後国藩士(ぶんごのくにはんし) 戸田秋谷(しゅうこく)。その切腹はもはや三年後に迫っていた。自らの藩内での刃傷沙汰の責を問われたのが若き藩士檀野庄三郎(だんのしようざぶろう)。彼は家譜編纂の作業から藩の秘め事を知る立場にある幽閉中の秋谷が逃亡せぬよう監視せよとの藩命を受

け奥深い山里の秋谷の下に送り込まれる。秋谷、妻、娘、息子そして庄三郎の五人の緊張した共同生活が始まる。庄三郎は「家譜」の清書を手伝ううち、切腹(死)という運命を間近に控えながらも悠揚(ゆうよう)迫らぬ態度をとり続ける秋谷に対し、訝しながらも(監視の立場上)次第にその人柄に魅かれてゆく。(物語は友情、恋、鎖鎌による殺人、また強訴、一揆等社会的事象をも踏(ふ)まえながら展開してゆく。)そして「武士は名こそ惜しけれと申すが名を捨ててかからぬのがご奉

公というものである」という秋谷の言葉に、共感と疑念(裏)を感じはじめた庄三郎は秋谷が切腹に追い込まれた事件に疑問を抱き事件の真相を探りはじめた。やがて彼は藩政を揺るがす重大な文書入手する。果たしてその文書によって秋谷の切腹は免れるのか。安心立命(あんじんりゅうめい)…それとも?

◇「蝸ノ記」とは

家譜編纂の進捗を記した備忘録をいう。…それがしも来る日一日を懸命に生きる身でござれば、日暮しの意味合いを込めて名づけました。…とある。

◇同書の解説者は、日本文学研究者のロバートキ

ヤンベル教授です。同作品を「死を見つめ、淡々と明快な力強さにあふれる名作」としながらも具体的に終章近くの慶仙和尚(黄檗(おうぼく))

宗の名僧で秋谷も尊敬の念を抱く」と秋谷とのやりとりをとり上げています。思い残すことはないかと問われた秋谷は「薫(娘)の祝言と郁太郎(息子)の元服も見届けることが出来ました。もはやこの世に未練はございませぬ。」と答える。これに対して僧侶は覚悟が足りぬと説諭(せつゆ)する。「未練がないと申すは、この世に残る者の心を氣遣うておらぬと言っておるに等しい。この世をい」とい、去りとうない、

と思うて逝かねば残されたものが行き暮れよう」

…主人公の複雑な心理状態を慮った僧侶を通した解説者の高邁な配慮(死生感)がうかがえて興味深いものがあります。

◇原作は第一四六回直木賞を満票で受賞。浅田次郎氏(鉄道員Ⅱポッポ屋の作者)をして「これまでにない完成度」と言わしめた作品です。

◇同名の映画は監督・小泉堯史(雨あがる、博士の愛した数式)俳優・役所広司、岡田准一、他、旬で豪華な役者達。自然描写も素晴らしく、重厚な作品に仕上がっていると思います。



「老人と海」

ヘミングウェイ 著

福田 恒存 訳

海のことを考える場合、老人はいつもラ・マルという言葉を思い浮べた。それは愛情を込めて海を呼ぶ時にこの地方の人々が口にするスペイン語だった。海を愛する者も、時にはそれを悪(あ)しざまにののしることもある。が、その時すら海が女性であるという感じは彼等の語調から失われたためしがない。老人はいつも海を女性と考えていた。それは大きな恵みを、

時には与え、ときにはお預けにする何者かだ。たとえ海が荒々しく振ったとしてもそれは月が海を支配しているんだ。老人はそう考えている。サンチャゴはメキシコ湾でひとり小舟に乗って漁をする老人である。若い漁師達は彼をからかい相手にしていない。何せ八十四連敗(八十四日間不漁)中だから当然の事。サンチャゴは八十五日、陸の匂いをあとにして清々しい暁のにおいの立

ち込める海洋に乗り出していった。それは突然だった。信じられない位の巨大なま・かじきだった。千五百ポンドを超える代物だ。彼は手綱を何度も持ち替えながら二日間漂流。三日目に錨を突き刺してとどめを刺した。そして船に縛りつけて帰路につく。やがて恐れていたことが起った。血の匂いをかぎつけたどう猛な鯨だ。最初の一匹から最後の集団襲撃までサンチャゴの必死の抵抗も虚しく、港に着いた時には巨大な尻尾と骨と頭の一部しか残っていないかった。：「売っているところがあつたら、運つてもものも

ちつとは買つときたいもんだな」サンチャゴの有名な独白です。今回も又、海の魔女に差配されてしまった。：男の孤独と虚しさ、哀しい程の愚かさ。そして生き抜く事の不条理さを感じさせる作品でした。「老人と海」はヘミングウェイ(一八九九～一九六一)晩年の代表作です。(彼の作風は「ハードボイルドリアリズム」非情のリアリズム)とって作品を展開してゆくモメント(契機)として精神や思考より肉体的行動を賛美する傾向が強いのが特徴(訳者注)だそうです。)

※十二月十九日付日経「春秋」読売「編集手帳」にキューバの前国家評議会議長カストロとからめて「老人と海」が紹介されています。

(総務委員 瀬古 穰)



木青連近畿地区大会

I N 紀南

平成二六年十一月二二日、標記地区大会を開催しました。大会に先立ち前日かわるにて理事会が執り行われました。翌日午前には、(株)新宮原木市場にて記念市の見学、餅投げに参加して頂き、午後は世界遺産である熊野三山の一つ、那智大社を参拝しました。

大懇親会会場の浦島の温泉にて旅の疲れを癒した後、参加者約九十人による大懇親会が開催され、大いに盛り上がりました。翌日二三日には参加希望者を募りエクスカースヨン(森林体験)を行ない、森林の伐採体験、先進的林业機械を見学しま



大懇親会



那智山参拝

した。はじめての伐採作業、そして林业機械のスクールの大きさに参加者の皆さんもそうですが、我々も驚き、大いに満足して頂きました。無事大会を執り行うことが出来たのも、皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

(瀧岡 俊太)

第三六回 児童生徒木工工作コンクール

平成二六年九月二〇日、二一日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催しました。三四七名と前年同様多くの方が見学に来られました。去年より新たに行った風船釣りは好評でした。本展では二三校の木工作品を展示し、上位三点は、愛媛県で行われる全国大会に出品する予定です。木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(湊 一郎)



作品見学風景



受付風景

出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらうことを目的として、出張木工教室をそれぞれの学校で開催しております。

本年も、森林インストラクターや地元工務店等有志の協力を得て、実際の苗木を見せての説明等を行なうことでより「木」というものの知識を深め、木に親しんでいただけました。改めまして、参加頂いた全ての皆様に、御礼申し上げます。

(板谷 貴史)



◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成26年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	5,300 (5,700)	5,600 (6,900)	6,000 (4,800)	4	6~13
	3m 14~20	10,900 (10,500)	9,300 (10,500)	9,100 (9,800)	3	14~20
	3m 22cm上材	12,100 (11,900)	10,800 (12,600)	11,100 (13,400)	3	22~
	4m 14~22	10,900 (9,400)	9,800 (10,800)	9,600 (10,000)	4	14~22
	4m 24cm上材	14,000 (14,900)	13,800 (16,800)	12,600 (14,400)	4	24~
檜	4m 小丸太材	5,200 (5,900)	5,200 (7,500)	5,800 (4,900)	4	6~13
	3m 14~20	12,900 (12,300)	9,300 (13,300)	9,800 (14,400)	3	14~20
	3m 22cm上材	15,900 (17,900)	13,000 (20,100)	14,700 (17,900)	3	22~
	4m 14~22	11,800 (11,400)	9,300 (12,400)	11,200 (13,800)	4	14~22
	4m 24cm上材	24,900 (22,300)	22,100 (34,100)	17,700 (19,300)	4	24~
杉総平均単価		12,200 (12,100)	11,800 (13,400)	10,600 (12,600)		
檜総平均単価		15,100 (14,600)	13,900 (22,300)	12,600 (15,300)		
総平均単価		12,800 (13,000)	12,500 (15,700)	11,500 (13,400)		

m³単価 ()は平成25年度

㈱新宮原木市場
第四九期
定時株主総会

八月二六日、新宮木材
会館に於いて㈱新宮原木
市場の第四九期定時株主
総会が開催され、提出議
案はすべて原案通り承認



総会風景

可決され、任期満了に伴
う取締役の改選並びに同
日の取締役会にて次の通
り決定しました。

平成二六年十一月二
一日(土)、標記記念市を
開催し、それに伴い盛大
な餅投げを行いました。
参加者並びに木青連の
方々、一般の方等大勢の
人々が約六五〇〇個の餅
を拾い、その後二一〇〇
m³の原木市が行なわれ、
大変活気あるものとなり
ました。

木青連近畿地区大会
IN紀南開催記念市

代表取締役社長 瀧岡 俊太
代表取締役 植松 浩
取締役 谷口 泰仁
取締役 森谷 功
取締役 岡崎 武人
取締役 谷畑 光彦
取締役 田野上之保
監査役 吉田 一茂



競市風景



餅投げ

行事予定

- ◆ 一月十四日(水) 三重エネウッド視察会 午後一時~
- ◆ 一月十五日(木) 全員懇談会 午後四時~
- ◆ 一月十九日(月) ㈱新宮原木市場 新春初市 午前一〇時~
- ◆ 一月二十四日(土) あかね材研修会 午後一時三〇分~
- ◆ 一月二十四日(土) ポウリング大会 午後五時三〇分~
- ◆ 二月十九日(木) 末社詣り 午前一〇時~

組合事務局の月一回休業
(土曜日)のご案内
(一月~六月)

- 一月三十一日(土)
- 二月二一日(土)
- 三月二八日(土)
- 四月二五日(土)
- 五月二三日(土)
- 六月二〇日(土)

事務局
年末年始休業のおしらせ
十二月二八日(日)
~ 一月四日(日)

第55回木霊塔建立供養式



10月15日組合恒例の木霊塔建立供養式を開催致しました。今年は当組合理事で製材業を営む吉田一茂氏から、桧120年生の素晴らしい木霊塔をご献木頂きました。

当日は、姉妹都市のサンタクルーズの市長らが急遽参加し、当行事を興味深く堪能されました。

清水文雅本廣寺住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典終了後は、木工展表彰式、紀南木材新緑会員に木協組合員も加わった木遣り音頭(本年は1番、2番、3番の歌詞で)の披露、そして今年は例年以上の盛大な餅掘りを2部構成で行い最後に来賓の皆様と親交を深める懇親会を行いました。その後組合員、新緑会員一同で後片付けの後、慰労会にて無事行事を終了致しました。



献木者(吉田氏)と製材前の丸太



建立された木霊塔



盛大な餅投げ

編集後記

◇今年の干支は未(ひつじ)です。柔らかい毛でおおわれふつくらとやさしいイメージの動物です。余りギスギスしないおらかな一年になつて欲しいものです。

◇今年最初の表紙を飾ったのはデステイネーションキャベンペン(DC)に協力してJR木のぬくもりコーデイネート化事業として新宮駅に観光客歓迎看板を贈ったときの写真です。本文でも紹介したように他に駅構内支柱の木質カバー、二〇一五国体カウントダウンボード、木工展優秀作品展示、木材チップの香り提供等も併せて実行いたしました。

◇安倍首相が消費税一〇%への引き上げを延期し、これの民意を問うため衆議院を解散しました。結果は皆さんご存知の通りですが、消費税率の引上げを先延ばししても、これまでのアベノミクスの効果が地方におよんでおらず地方創生の実効力のある制度設計が急務となつていきます。今まで経験したことのない全く新しい視点での取り組みでなければ、名称や目先を変えるだけの小手先の方

法では一過性のもので何も変わらないのであろう。

◇「蝸の記」の作者・葉室麟による「西郷隆盛」論。西郷さんの思想形成の核心をなすといわれるのが江戸時代の儒者・佐藤一斎の「言志録」だそうです。「言志録」より二題

・春風を以て人に接し秋霜をもつて自ら肅(つつし)む
一燈を提(ひっさ)げて闇夜を行く。闇夜を憂う勿(なか)れ。只だ一燈を頼め(西郷にとつて幕末から明治にかけての闇夜のような混乱の時代を生き抜く為の一燈は、自らの心だったのかもしれない)。「言志録」については司馬遼太郎「翔ぶが如く」第十巻にも記載されています。

◇現在放映中(十二月二十一日終映)のTVドラマ「悪貨」の連想より

・Bad money drives out good(悪貨は良貨を駆逐する)トーマス・グレシャム(英)
経済用語としてつとに有名な言葉ですが、その意味するところは…(悪銭身につかず)か、それとも本意は…?

皆様のご健勝をお祈りいたします。